2023年度第3四半期決算説明会資料

2024年2月6日

三菱商事株式会社

（将来に関する記述等についてのご注意）
- 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

（本資料における留意点について）
- 本資料における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。また、「資本」は、資本合計の内、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する持分の金額を表示しています。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

目次

1 中期経営戦略2024の進捗状況

2 2023年度第3四半期決算の詳細

3 連結財務諸表の補足情報

4 セグメント別の補足情報

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

1 中期経営戦略2024の進捗状況

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

2023年度第3四半期決算サマリー

第3四半期実績	2022年度	2023年度	増減
連結純利益	9,558億円	**6,966億円**	▲2,592億円

株主還元	11/2公表	追加還元	累計
一株当たり配当（株式分割後）	70円	-	70円
自己株式取得（上限）	1,000億円	**+5,000億円**	6,000億円

前年同期比

- ✓ 各事業で着実に利益を積み上げており、第3四半期実績は過去第2位となる6,966億円と引き続き高水準。
- ✓ 前年同期比減益の要因は、資源価格の鎮静化やキャピタルゲインの反動など。

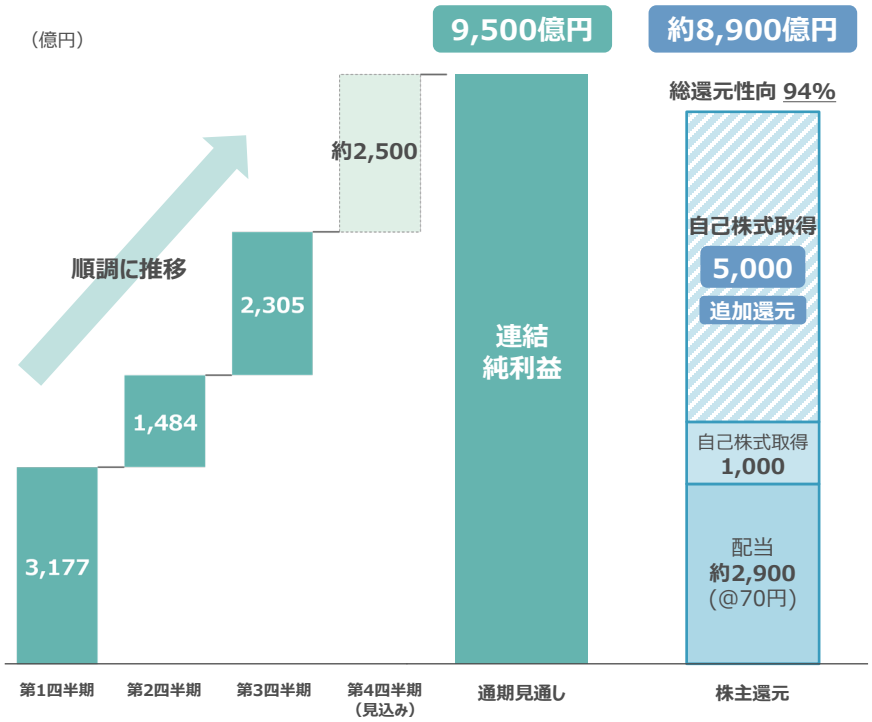
通期見通し

- ✓ 11/2公表の通期見通し9,500億円に対して、進捗率73%と順調に推移。

株主還元

- ✓ 新たに上限を5,000億円とした自己株式取得による追加還元を決定し、総還元額は過去最高の約8,900億円を見込む。
- ✓ 順調な営業収益CFの創出や循環型成長モデルの実践による投資回収の進捗などを踏まえたもの。
- ✓ 年間一株当たり配当（株式分割後）70円は変更なし。

通期見通しに対する進捗・株主還元



Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

中期経営戦略2024におけるキャッシュ・フロー配分
（2023年度第3四半期）

	項目 （中経2024 3か年での計画） 2024/2/6公表値	2023年度 第3四半期実績	補足	<ご参考> 中経2024実績累計
キャッシュイン	営業収益CF ※1 （3.5兆円）	9,049億円	営業収益CFの創出は順調に進捗。	2.2兆円 【21,896億円】
キャッシュイン	売却による投資回収 （2.0兆円）	6,441億円	食品産業や複合都市開発における資産入替に伴う売却収入など、投資回収も順調に進捗。	1.3兆円 【13,485億円】
キャッシュアウト	投資 （3.0兆円）	7,065億円	収益基盤の維持・拡大※2　0.4兆円（0.9兆円） EX関連 ※3　0.2兆円（0.5兆円） DX・成長投資関連　0.1兆円（0.2兆円） （括弧内は中経2024実績累計）	1.6兆円 【15,884億円】
	調整後FCF	8,425億円	営業収益CFと投資CFの合計	1.9兆円 【19,497億円】

※1 運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フローにリース負債の支払額を反映（※具体的な調整内容などはP18参照）

※2 収益基盤の維持・拡大の主な内容

	当年度実績	中経2024実績累計
■原料炭事業	約600億円	約1,300億円
■CVS事業	約400億円	約1,000億円
■鮭鱒養殖事業	約300億円	約400億円

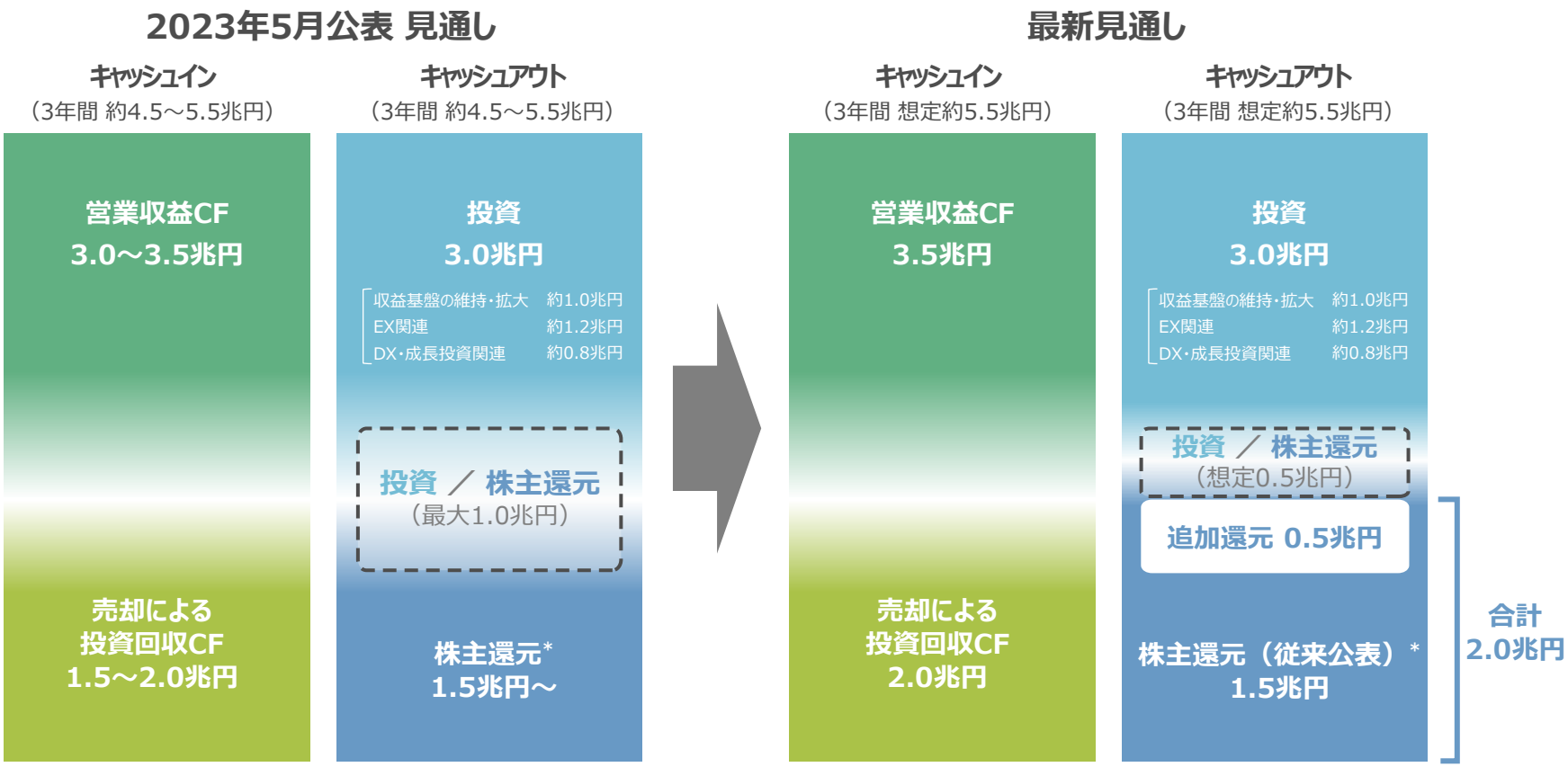
※3 EX関連投資の主な内容

	当年度実績	中経2024実績累計
■Eneco関連	約900億円	約1,700億円
■LNG関連・シェールガス事業	約600億円	約1,200億円
■米国電力事業	約500億円	約1,300億円

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

中期経営戦略2024におけるキャッシュ・フロー配分

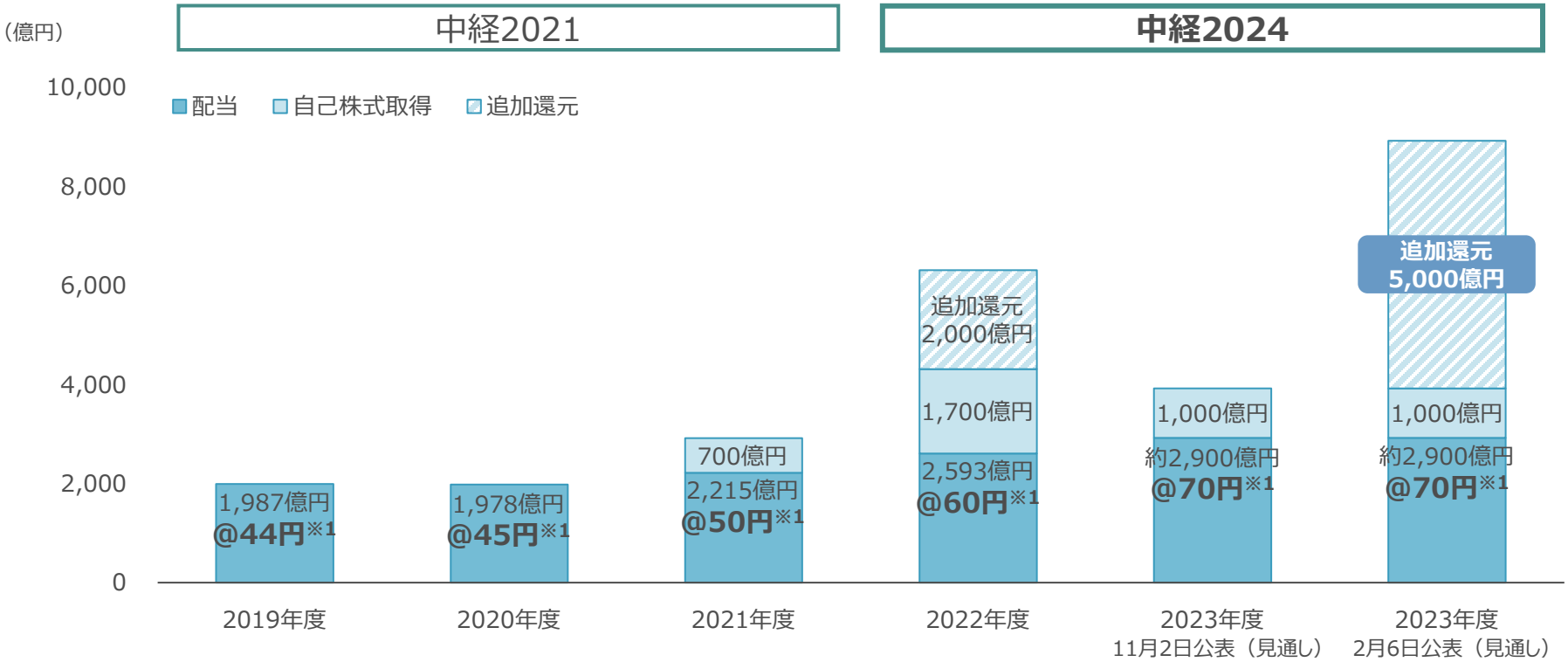
- ✓ 2023年5月公表の見通しにおいて、最大1.0兆円を投資と株主還元へ追加配分する方針としたが、この内0.5兆円を自己株式取得に充当する。
- ✓ 残り想定0.5兆円の追加配分についても、引き続き規律を持って成長投資を積極的に検討しながら、今後のCF動向を踏まえて投資と株主還元への配分を検討していく。



*「子会社による非支配株主への配当金の支払」見通し約0.2兆円を含む。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

（ご参考）株主還元



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 11月2日公表（見通し）	2023年度 2月6日公表（見通し）
総還元額	1,987億円	1,978億円	2,915億円	6,293億円	約3,900億円	**約8,900億円**
総還元性向 （追加還元除く）	37%	115%	31%	53% (36%)	41%※2	94%※2 (41%)※2

※1 2024年1月1日の株式分割（3分割）を踏まえ、過去に遡り調整（分割前配当×1/3）した金額（小数点以下四捨五入）
※2 2023年11月2日公表の通期業績見通し（9,500億円）に基づく見込み値

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

（ご参考）定量目標の進捗状況

「中期経営戦略2024」の定量目標

利益・CF	資本効率の維持・向上	財務健全性の維持
連結純利益（2024年度） 8,000億円 営業収益CF 年間1兆円規模	ROE二桁水準	格付シングルA格上位維持 還元後フリーキャッシュ・フロー>0（中経3年間）

2023年度見通し
＜第3四半期時点＞

連結純利益 9,500億円 資源価格等補正後(*1)（第3四半期実績） 7,000億円（5,000億円） 営業収益CF見通し 約1.1兆円	ROE通期見通し 11.2 %	S&P：A（見通し安定的） Moody's：A2（見通し安定的） ＜第3四半期末＞ 調整後FCF 8,425億円 ＜第3四半期実績＞ （23年度通期還元見込額）（1.0兆円）(*2)

(*1)中経策定時の24年度価格前提に補正した場合の利益
（調整対象：資源価格（原料炭、銅、鉄鉱石、原油、ガス、LNG）、為替）

(*2)追加還元を踏まえた最新見通しに変更。「子会社による非支配株主への配当金の支払」を含む。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

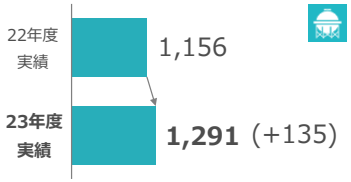
2 2023年度第3四半期決算の詳細

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

（詳細）セグメント別の状況

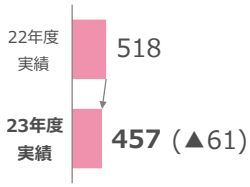
連結純利益：　2022年度 第3四半期　9,558
2023年度 第3四半期　6,966（▲2,592 ：前年同期比）

（億円）



天然ガス

LNG関連事業における持分利益の減少の一方、LNG販売事業における前年同期に計上した取引損失の反動や取引利益の増加など

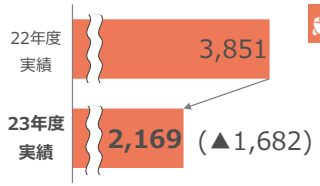


総合素材

鉄鋼製品事業における持分利益の減少など

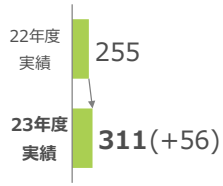
化学ソリューション

化学品製造事業における減損損失や前年同期に計上した繰延税金負債の取崩しの反動など



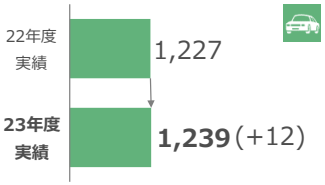
金属資源

豪州原料炭事業における市況下落による影響など



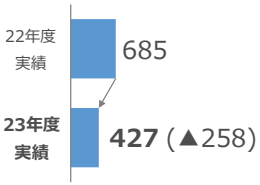
産業インフラ

産業機械事業における持分利益の増加や一般商船事業における持分利益の増加など



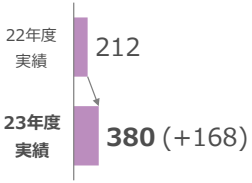
自動車・モビリティ

アセアン自動車事業における持分利益の減少の一方、海外事業売却関連損益を計上したことなど



食品産業

関連会社株式の売却益の一方、海外食品事業における減損損失や鮭鱒養殖事業における持分利益の減少など

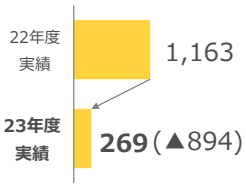


コンシューマー産業

CVS事業における持分利益の増加や前年同期に計上した海外事業投資先宛投資の減損の反動など

電力ソリューション

海外発電事業における資産売却益の減少の一方、前年同期に計上した英国小売事業における電力・ガス調達契約評価損の反動や欧州総合エネルギー事業における持分利益の増加など



複合都市開発

前年同期に計上した不動産運用会社の売却益の反動や北米不動産事業における持分利益の減少など

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

（詳細）市況の状況

為替・商品・金利市況の状況

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 業績見通し <11/2公表> (*1)	増減	2023年度見通し 連結純利益に対する 影響額（試算値） <11/2公表>
為替（円/US$）	143.33	140.53	+2.80	50億円（円/US$） (*2)
油価（Brent） (*3) （US$/BBL）	83	82	+1	15億円（US$/BBL） (*4)
銅地金（LME） （US$/MT） [US¢/lb]	8,324 [378]	8,400 [381]	▲76 [▲3]	(*5) 27億円（US$100/MT） [58億円（US¢10/lb）]
原料炭（FOB豪州） （US$/MT）	280	非開示		非開示
鉄鉱石（FOB豪州） (*6) （US$/MT）	108	105	+3	7.5億円（US$/MT）
円金利（%） TIBOR 3M	0.07	0.11	▲0.04	(*7)
US$金利（%） SOFR （金利計算期間 3M）	5.08	5.18	▲0.10	(*7)

（*1）見通しは、通期平均価格を記載している。
（*2）4~3月平均が1円円安(増益)/円高(減益)となった場合の影響額。実績においては、連結会社との決算期の違いによるタイムラグや、他通貨間のクロスレートの影響なども受ける。
（*3）連結会社との決算期の違いやLNG販売価格への油価反映のタイムラグ等を踏まえ、6か月前の油価（通期：10～9月平均）と3か月前の油価（通期：1~12月平均）の平均値を記載している。
（*4）実績においては、為替要因、生産・販売数量等の要素の影響も受ける。尚、LNG事業の「その他投資先 受取配当金」は、投資先の配当性向や配当決議時期等の影響を受け、油価の変動に伴う直接的な影響は現時点では限定的なため、見通しに対する影響額の算定対象から除外している。
（*5）実績においては、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資計画（設備投資）等の要素の影響も受ける。
（*6）連結会社との決算期の違いを踏まえ、3か月前の価格（通期：1~12月平均）を記載している。見通しに対する影響額は、実績において、鉄分品位、生産・操業状況等の要素の影響も受ける。
（*7）取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

3 連結財務諸表の補足情報

【比較年度数値に係る補足】
- 当年度に組織改編、会計方針の変更等を実施しており、増減比較のため比較年度の財務諸表数値、各種指標等を遡及修正している。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

セグメント別当期純利益

セグメント別当期純利益

（億円）	2022年度 第3四半期			2023年度 第3四半期			前年同期比 増減			2023年度見通し（11月2日公表）	
	一過性	一過性除く損益	合計	一過性	一過性除く損益	合計	一過性	一過性除く損益	合計	合計	進捗率
天然ガス	43	1,113	1,156	–	1,291	1,291	▲ 43	+178	+135	1,700	76%
総合素材	14	504	518	▲ 32	489	457	▲ 46	▲15	▲61	570	80%
化学ソリューション	19	219	238	▲ 74	132	58	▲ 93	▲87	▲180	200	29%
金属資源	47	3,804	3,851	117	2,052	2,169	+ 70	▲1,752	▲1,682	2,980	73%
産業インフラ	–	255	255	–	311	311	–	+56	+56	330	94%
自動車・モビリティ	▲ 35	1,262	1,227	195	1,044	1,239	+ 230	▲218	+12	1,280	97%
食品産業	26	659	685	▲ 23	450	427	▲ 49	▲209	▲258	640	67%
コンシューマー産業	▲ 43	255	212	–	380	380	+ 43	+125	+168	380	100%
電力ソリューション	▲ 51	35	▲ 16	▲ 84	237	153	▲ 33	+202	+169	1,130	14%
複合都市開発	812	351	1,163	34	235	269	▲ 778	▲116	▲894	450	60%
その他	–	271	271	–	212	212	–	▲59	▲59	▲ 160	–
合計	832	8,726	9,558	133	6,833	6,966	▲ 699	▲1,893	▲2,592	9,500	73%

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

主要な勘定科目のセグメント別内訳（2023年度第3四半期実績）

B/S項目（2023年度第3四半期末）

（億円）	天然ガス	総合素材	化学ソリューション	金属資源	産業インフラ	自動車・モビリティ	食品産業	コンシューマー産業	電力ソリューション	複合都市開発	その他、調整・消去	合計
総資産	22,541	14,804	6,975	40,990	14,053	19,145	21,460	41,226	27,858	12,086	11,132	232,270
現金及び現金同等物・定期預金	609	173	106	1,016	1,194	743	289	4,100	959	198	9,108	18,495
営業債権及びその他の債権 （流動・非流動計）及び棚卸資産	4,279	9,650	4,401	13,951	4,875	11,060	6,457	11,766	6,300	2,105	▲ 4,304	70,540
持分法で会計処理される投資	8,185	2,450	1,272	5,523	2,604	5,000	3,670	1,105	4,944	8,031	528	43,312
有形固定資産及び投資不動産	3,874	1,117	84	9,467	1,466	499	2,683	3,631	8,002	65	1,205	32,093
無形資産及びのれん（*）	18	121	30	49	943	63	2,031	5,318	3,702	1	306	12,582
使用権資産	1,226	82	49	200	695	20	563	11,396	725	80	822	15,858
その他の投資	2,957	695	868	3,277	498	1,370	2,105	3,172	376	1,146	1,947	18,411
営業債務及びその他の債務 (流動・非流動計)	988	3,610	2,564	3,106	2,642	1,755	2,586	14,393	3,365	107	1,759	36,875

天然ガス・金属資源 主な内訳

	天然ガス		金属資源		
（億円）	LNG	その他	MDP	銅	その他
持分法で会計処理される投資	5,576	2,609	3	3,828	1,692
有形固定資産及び投資不動産	229	3,645	9,461	0	6
無形資産及びのれん（*）	18	0	2	0	47
使用権資産	1,167	59	188	0	12
その他の投資	2,946	11	20	2,921	336

（*）過半が無形資産(償却性含む)。また、全部のれん方式を採用していることにより、非支配株主に帰属するのれんも含まれる。

P/L項目（2023年度第3四半期）

（億円）	天然ガス	総合素材	化学ソリューション	金属資源	産業インフラ	自動車・モビリティ	食品産業	コンシューマー産業	電力ソリューション	複合都市開発	その他、調整・消去	合計
売上総利益	643	1,206	522	2,802	1,036	1,456	2,377	5,952	1,212	262	328	17,796
販売費及び一般管理費	▲ 313	▲ 840	▲ 316	▲ 517	▲ 771	▲ 847	▲ 1,707	▲ 5,084	▲ 1,125	▲ 239	▲ 477	▲ 12,236
受取配当金	206	88	9	375	30	84	156	29	0	6	35	1,018
持分法による投資損益	1,025	341	▲ 67	518	139	717	150	108	184	264	73	3,452
当期純利益	1,291	457	58	2,169	311	1,239	427	380	153	269	212	6,966
減価償却費	109	118	34	500	350	84	446	1,901	553	20	320	4,435

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

主要な勘定科目のセグメント別内訳（2022年度実績）

B/S項目（2022年度末）

（億円）	天然ガス	総合素材	化学ソリューション	金属資源	産業インフラ	自動車・モビリティ	食品産業	コンシューマー産業	電力ソリューション	複合都市開発	その他、調整・消去	合計
総資産	20,430	14,617	6,915	40,981	13,292	20,219	21,030	38,821	27,162	11,646	6,362	221,475
現金及び現金同等物・定期預金	562	165	120	510	775	711	442	3,776	931	331	8,200	16,523
営業債権及びその他の債権 （流動・非流動計）及び棚卸資産	4,323	9,692	4,476	15,587	5,105	11,495	7,422	9,857	6,561	2,008	▲ 7,405	69,121
持分法で会計処理される投資	7,148	1,762	1,212	5,499	2,405	4,445	3,583	1,009	4,525	7,220	407	39,215
有形固定資産及び投資不動産	3,139	1,079	77	9,951	1,347	487	3,167	3,661	6,532	74	1,226	30,740
無形資産及びのれん（*）	19	117	30	44	964	70	1,843	5,286	3,374	1	326	12,074
使用権資産	1,281	92	60	228	667	18	645	11,450	595	38	829	15,903
その他の投資	2,355	908	803	4,133	464	1,221	1,899	2,974	342	1,143	1,927	18,169
営業債務及びその他の債務 (流動・非流動計)	1,031	3,589	2,514	2,792	2,614	1,752	2,648	11,124	4,268	159	1,792	34,283

天然ガス・金属資源 主な内訳

（億円）	天然ガス		金属資源		
	LNG	その他	MDP	銅	その他
持分法で会計処理される投資	4,880	2,268	3	3,885	1,611
有形固定資産及び投資不動産	226	2,913	9,946	0	5
無形資産及びのれん（*）	19	0	1	0	43
使用権資産	1,227	54	211	0	17
その他の投資	2,353	2	18	3,778	337

（*）過半が無形資産(償却性含む)。また、全部のれん方式を採用していることにより、非支配株主に帰属するのれんも含まれる。

P/L項目（2022年度第3四半期）

（億円）	天然ガス	総合素材	化学ソリューション	金属資源	産業インフラ	自動車・モビリティ	食品産業	コンシューマー産業	電力ソリューション	複合都市開発	その他、調整・消去	合計
売上総利益	▲ 78	1,333	667	5,377	924	1,800	2,455	5,420	817	151	296	19,162
販売費及び一般管理費	▲ 316	▲ 827	▲ 362	▲ 541	▲ 735	▲ 842	▲ 1,636	▲ 4,804	▲ 918	▲ 226	▲ 504	▲ 11,711
受取配当金	221	11	13	394	21	71	29	31	0	9	66	866
持分法による投資損益	1,642	361	103	314	123	668	230	66	▲ 73	398	102	3,934
当期純利益	1,156	518	238	3,851	255	1,227	685	212	▲ 16	1,163	271	9,558
減価償却費	111	115	47	521	349	87	441	1,818	471	21	301	4,282

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

補足情報

主要指標等

		2022年度末	2023年度 第3四半期末	増減
指標				
投融資レバレッジ	(*1)	27.3%	25.8%	▲ 1.5%
株主資本比率	(*2)	36.4%	37.6%	+ 1.2%
1株当たり資本/BPS（円）	(*2)	1,882	2,113	+ 231

		2022年度 通期実績	2023年度 11/2公表見通し	増減
ROE/ROA				
ROE (Return On Equity)	(*3)	15.8%	11.2%	▲ 4.6%
ROA (Return On Assets)	(*3)	5.4%	4.2%	▲ 1.2%

（億円）		2022年度末	2023年度 第3四半期末	増減
有利子負債				
グロス有利子負債	(*4)	48,899	52,551	+ 3,652
ネット有利子負債	(*4)	32,376	34,056	+ 1,680
（参考）リース負債		16,677	16,620	▲ 57

為替

		2022年度	2023年度
JPY/US$			
期末	(*5)	133.53	141.83
期中平均	(*6)	135.50	143.33
JPY/AU$			
期末	(*5)	89.69	96.94
期中平均	(*6)	92.66	94.23
JPY/EUR			
期末	(*5)	145.72	157.12
期中平均	(*6)	140.97	155.29

(*1) [有形固定資産＋投資＋融資＋無形資産及びのれん] ÷ [資本合計＋格付資本] － 100%（格付資本：ハイブリッド社債・ローンによる調達額の50%）
(*2) 計算に用いる「資本」は、資本合計の内、当社の所有者に帰属する持分の金額。
1株当たり資本/BPSは、2024年1月1日の株式分割（3分割）を踏まえ調整（株式数×3）した金額。
(*3) ROEとROAは共に当社の所有者に帰属する当期純利益を分子として計算している。
(*4) リース負債を除く。
(*5) 2022年度は2023年3月末、2023年度は2023年12月末の為替レートを示す。
(*6) 2022年度は通期平均レート、2023年度は2023年4月から12月までの9か月平均レートを示す。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

連結財政状態計算書の主要な増減

連結財政状態計算書

（億円）	2022年度末	2023年度 第3四半期末	増減	増減理由
総資産	**221,475**	**232,270**	**+ 10,795**	
流動資産	**91,093**	**95,534**	**+ 4,441**	
現金及び現金同等物	15,570	18,330	+ 2,760	資金調達及び営業収入や配当収入による増加
営業債権及びその他の債権	41,273	42,582	+ 1,309	季節要因による受取手形及び売掛金の増加
売却目的保有資産	2,437	4,058	+ 1,621	売却予定事業の振替による増加
非流動資産	**130,382**	**136,736**	**+ 6,354**	
持分法で会計処理される投資	39,215	43,312	+ 4,097	円安の影響及び持分利益増による増加
有形固定資産	29,920	31,327	+ 1,407	新規取得及び円安の影響による増加
負債	**130,285**	**134,105**	**+ 3,820**	
流動負債	**66,947**	**71,480**	**+ 4,533**	
社債及び借入金	13,959	18,272	+ 4,313	コマーシャル・ペーパーの新規発行による増加
営業債務及びその他の債務	33,690	36,235	+ 2,545	季節要因による買掛金及び未払金の増加
未払法人税等	1,854	613	▲ 1,241	
売却目的保有資産に直接関連する負債	258	1,372	+ 1,114	売却予定事業の振替による増加
その他の流動負債	7,193	6,111	▲ 1,082	貴金属リース取引における数量減及び価格下落
非流動負債	**63,338**	**62,625**	**▲ 713**	
資本	**91,190**	**98,165**	**+ 6,975**	
当社の所有者に帰属する持分合計	**80,656**	**87,271**	**+ 6,615**	
自己株式	▲ 1,241	▲ 3,625	▲ 2,384	自己株式の取得▲3,400、自己株式の消却+974
在外営業活動体の換算差額	12,571	17,331	+ 4,760	円安（対米ドル・豪ドル）の影響による増加
利益剰余金	60,439	63,668	+ 3,229	当期純利益+6,966、配当支払▲2,934、自己株式の消却▲974
非支配持分	**10,534**	**10,894**	**+ 360**	

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

連結損益計算書・黒字会社/赤字会社別損益・会社数

連結損益計算書

（億円）	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
売上総利益	19,162	17,796	▲ 1,366
販売費及び一般管理費	▲ 11,711	▲ 12,236	▲ 525
貸倒引当金繰入額	▲ 279	▲ 159	＋ 120
有価証券損益	1,536	682	▲ 854
固定資産除・売却損益	36	220	＋ 184
固定資産減損損失	▲ 54	▲ 450	▲ 396
その他の損益ー純額	9	152	＋ 143
金融収益	1,297	1,849	＋ 552
受取配当金	866	1,018	＋ 152
受取利息	431	831	＋ 400
金融費用	▲ 765	▲ 1,413	▲ 648
持分法による投資損益	3,934	3,452	▲ 482
法人所得税	▲ 3,191	▲ 2,236	＋ 955
非支配持分損益	▲ 694	▲ 850	▲ 156
支配持分当期純利益	9,558	6,966	▲ 2,592

関係会社情報

	2022年度末	2023年度 第3四半期末	増減
関係会社数			
黒字会社			
会社数（*）	324	324	＋ 0
比率	74.0%	76.6%	＋ 2.6%
赤字会社			
会社数（*）	114	99	▲ 15
比率	26.0%	23.4%	▲ 2.6%
会社数合計	438	423	▲ 15

（億円）	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
関係会社損益			
黒字会社合計	10,258	7,945	▲ 2,313
赤字会社合計	▲ 1,090	▲ 1,020	＋ 70
合計	9,168	6,925	▲ 2,243

（*） 連結子会社・持分法適用会社が連結決算を実施している場合は、傘下の会社も含めて1社と数える。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

連結キャッシュ・フロー計算書の増減

連結キャッシュ・フロー計算書

（億円）	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,250	10,051	▲ 4,199	営業収入の減少や運転資金等の負担増加
営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）（*）	10,123	9,049	▲ 1,074	主に四半期純利益の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,403	▲ 624	＋ 779	前年度の不動産運用会社宛て投資の売却による収入の反動減の一方、当年度の融資の回収や投資不動産の売却による収入
調整後フリーキャッシュ・フロー	8,720	8,425	▲ 295	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 13,243	▲ 7,061	＋ 6,182	自己株式の取得増加の一方、運転資金等の需要増加に伴う短期借入債務の調達増加
持分法適用会社からの受取配当金受領額	2,706	2,769	＋ 63	天然ガスグループにおける配当減少の一方、総合素材グループにおける配当増加

（*） 運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フロー（連結純利益（含 非支配持分）－減価償却費－投資活動関連損益－未配当の持分法損益－貸倒費用等－繰延税金）に、リース負債の支払額を反映したもの。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

4 セグメント別の補足情報（財務情報）

【主要な関係会社等の持分損益に係る留意事項】
- 関係会社先の会計期間が当社の連結会計期間(4月-3月)と異なる場合、当社連結財務諸表には差異期間中の重要な取引を反映している。
- 表示されている持分比率は、当社連結経営成績上の「当社の所有者に帰属する当期純利益」に寄与している損益の比率であり、議決権所有割合とは必ずしも一致しない。
- 当年度より表内開示数値については、会計基準差や取得時に公正価値評価された資産の償却等の連結調整を含めた当社が認識する持分損益で統一しており、増減比較のため比較年度数値については遡及修正している。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

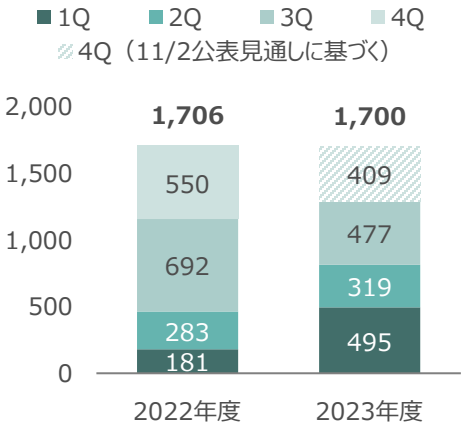
天然ガスグループ 損益概要

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	43	–	▲43	LNG関連事業における持分利益の減少の一方、LNG販売事業における前年同期に計上した取引損失の反動や取引利益の増加など
一過性除く損益	1,113	1,291	+178	
合計	1,156	1,291	+135	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	1,291	1,700	76%	–

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
■ LNG事業						
–	関係会社持分損益	–	–	996	740	▲ 256
–	その他投資先 受取配当金	–	–	178	169	▲ 9
■ シェールガス事業						
–	シェールガス事業 持分損益	–	–	138	108	▲ 30

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	–		–
一過性損失 計	–	–	–		–
合計	–	–	–		–
2022年度					
一過性利益 計	–	–	64	–	64
一過性損失 計	–	▲19	▲2	▲136	▲157
合計	–	▲19	62	▲136	▲93

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

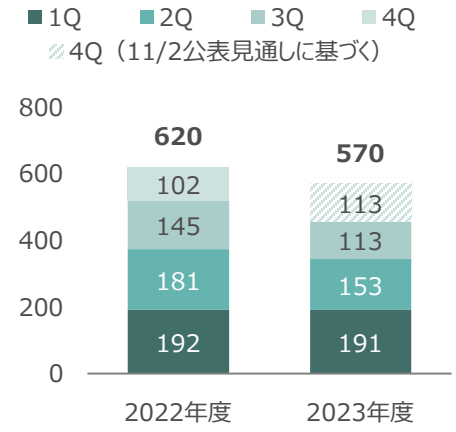
総合素材グループ 損益概要

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	14	▲ 32	▲46	
一過性除く損益	504	489	▲15	鉄鋼製品事業における持分利益の減少など
合計	518	457	▲61	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	457	570	80%	–

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
子	Cape Flattery Silica Mines Pty, Ltd.（オーストラリア）	硅砂の製造・販売事業	100.00	8	8	0
子	株式会社メタルワン	鉄鋼製品事業	60.00	192	153	▲ 39

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	–		–
一過性損失 計	–	–	▲32		▲32
中国関連取引損失	–	–	▲32		▲32
合計	–	–	▲32		▲32
2022年度					
一過性利益 計	–	14	–	–	14
一過性損失 計	–	–	–	–	–
合計	–	14	–	–	14

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

化学ソリューショングループ 損益概要

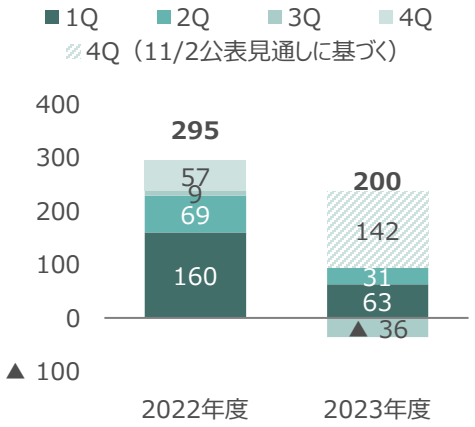
	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	19	▲ 74	▲93	化学品製造事業における減損損失や前年同期に計上した繰延税金負債の取崩しの反動など
一過性除く損益	219	132	▲87	
合計	238	58	▲180	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	58	200	29%	化学品製造事業における減損損失など

（比較年度には4月1日付組織改編に伴う組替を反映。）

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
持分法	サウディ石油化学株式会社	投資及び石油・石化関連事業	33.34	8	▲ 7	▲ 15
子	三菱商事ケミカル株式会社	溶剤、コーティングレジン、シリコーン、乾式シリカの販売	100.00	24	22	▲ 2
子	三菱商事プラスチック株式会社	合成樹脂原料製品の販売	100.00	24	23	▲ 1
持分法（上場）	明和産業株式会社	化学品、その他各種物品の国内販売並びに輸出入業	33.05	7	7	0
–	海外化学品トレーディング事業	–	–	30	21	▲ 9
–	基礎化学事業関連会社	–	–	86	▲ 65	▲ 151

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	–		–
一過性損失 計	–	–	▲74		▲74
化学品製造事業における減損	–	–	▲74		▲74
合計	–	–	▲74		▲74
2022年度					
一過性利益 計	45	4	2	1	52
一過性損失 計	–	–	▲32	–	▲32
合計	45	4	▲30	1	20

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

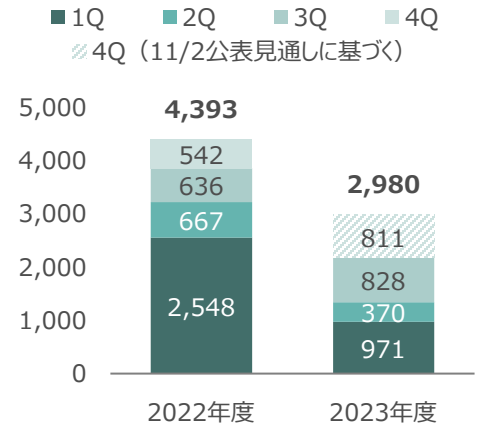
金属資源グループ 損益概要

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	47	117	+70	
一過性除く損益	3,804	2,052	▲1,752	豪州原料炭事業における市況下落による影響など
合計	3,851	2,169	▲1,682	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	2,169	2,980	73%	–

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
持分法	IRON ORE COMPANY OF CANADA（カナダ）	鉄鉱石採掘・加工・販売	26.18	224	110	▲ 114
子	M.C. INVERSIONES LIMITADA（チリ）【鉄鉱石事業】	中南米に於ける金属資源事業の運営会社（Compania Minera del Pacifico（チリ）への当社間接出資比率 25%、等）	100.00	161	82	▲ 79
子	MITSUBISHI DEVELOPMENT PTY LTD（オーストラリア）	原料炭を中心とした金属資源への投資、生産及び販売	100.00	3,092	1,313	▲ 1,779
子	三菱商事RtMジャパン株式会社	本邦向け金属資源トレーディング事業会社	100.00	90	113	+ 23
■銅事業						
子	ジエコ株式会社	エスコンディダ銅鉱山（チリ）への投資会社 ※	70.00	103	99	▲ 4
持分法	JECO 2 LTD（イギリス）	エスコンディダ銅鉱山（チリ）への投資会社 ※	50.00	25	24	▲ 1
子	MC COPPER HOLDINGS B.V.（オランダ）	ロスペランブレス銅鉱山（チリ）への投資会社（同鉱山への当社間接出資比率5%）	100.00	10	62	+ 52
子	M.C. INVERSIONES LIMITADA（チリ）【銅事業】	中南米に於ける金属資源事業の運営会社（アングロ・アメリカン・スール（チリ）への当社間接出資比率20.4%、等）	100.00	▲ 16	▲ 57	▲ 41
子	MCQ COPPER LTD.	ケジャベコ銅鉱山（ペルー）への投資会社	100.00	▲ 44	317	+ 361

銅事業においては、上記以外に親会社が直接アンタミナ鉱山からの配当を収受している。（2022年度：79億円、2023年度：109億円）
※ ジエコ株式会社とJECO 2 LTDを通じたエスコンディダ銅鉱山（チリ）の持分比率は8.25%。

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	117		117
RtM事業における債権売却関連益	–	–	69		69
豪州原料炭事業一部売却に伴う税効果	–	–	48		48
一過性損失 計	–	–	–		–
合計	–	–	117		117
2022年度					
一過性利益 計	68	–	29	–	97
一過性損失 計	–	–	▲50	▲381	▲431
合計	68	–	▲21	▲381	▲334

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

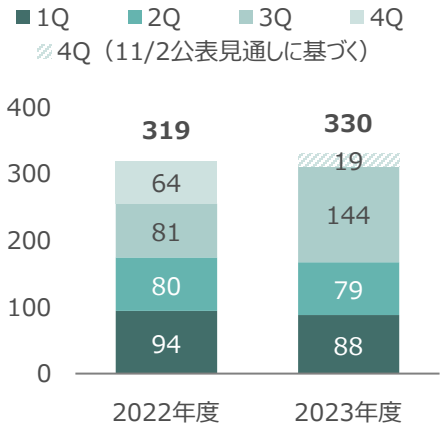
産業インフラグループ 損益概要

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	–	–	–	産業機械事業における持分利益の増加や一般商船事業における持分利益の増加など
一過性除く損益	255	311	+56	
合計	255	311	+56	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	311	330	94%	一般商船事業における船舶売却益を第3四半期までに計上したことなど

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
子	エム・エス・ケー農業機械株式会社	農業機械の販売、酪農施設等の建設及びアフターサービス	100.00	7	1	▲ 6
子	株式会社レンタルのニッケン	建設機械等の賃貸・販売	100.00	36	42	＋ 6
子（上場）	千代田化工建設株式会社	総合エンジニアリング事業	33.45	33	44	＋ 11
子	三菱商事テクノス株式会社	工作機械・産業機械販売	100.00	1	6	＋ 5
子	三菱商事マシナリ株式会社	プラント・インフラ施設・機械・部品の輸出入及び国内取引	100.00	25	33	＋ 8
–	LNG事業 関係会社持分損益	–	–	31	32	＋ 1
–	その他エネルギーインフラ関連事業会社	–	–	48	67	＋ 19
–	一般商船事業関係会社	–	–	52	42	▲ 10
–	ガス船事業関係会社	–	–	30	28	▲ 2

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	–		–
一過性損失 計	–	–	–		–
合計	–	–	–		–
2022年度					
一過性利益 計	–	–	–	13	13
一過性損失 計	–	–	–	▲12	▲12
合計	–	–	–	1	1

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

自動車・モビリティグループ 損益概要

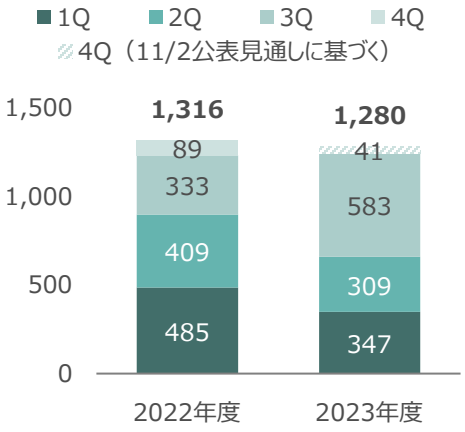
	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	▲ 35	195	+230	アセアン自動車事業における持分利益の減少の一方、海外事業売却関連損益を計上したことなど
一過性除く損益	1,262	1,044	▲218	
合計	1,227	1,239	+12	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	1,239	1,280	97%	海外事業売却関連損益を第3四半期までに計上したことや、アセアン自動車事業における持分利益が第3四半期までに偏重していることなど

（比較年度には4月1日付組織改編に伴う組替を反映。）

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
持分法（上場）	TOYO TIRE株式会社	タイヤ事業、自動車部品事業	20.02	58	83	+ 25
持分法（上場）	三菱自動車工業株式会社	自動車及び部品製造・販売	20.00	238	201	▲ 37
–	タイ・インドネシア自動車関連事業会社	–	–	861	720	▲ 141
（インドネシア自動車関連事業会社 主な内訳）						
持分法	PT MITSUBISHI MOTORS KRAMA YUDHA SALES INDONESIA（インドネシア）	自動車輸入販売（MMC）	40.00	49	26	▲ 23

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	**▲26**	**39**	**184**		**197**
海外事業売却関連損益	▲26	39	142		155
国内事業投資先売却関連益	–	–	42		42
一過性損失 計	**–**	**▲21**	**19**		**▲2**
中国事業投資先関連損失	–	▲21	19		▲2
合計	**▲26**	**18**	**203**		**195**
2022年度					
一過性利益 計	**–**	**18**	**60**	**19**	**97**
一過性損失 計	**–**	**▲14**	**▲99**	**▲211**	**▲324**
合計	**–**	**4**	**▲39**	**▲192**	**▲227**

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

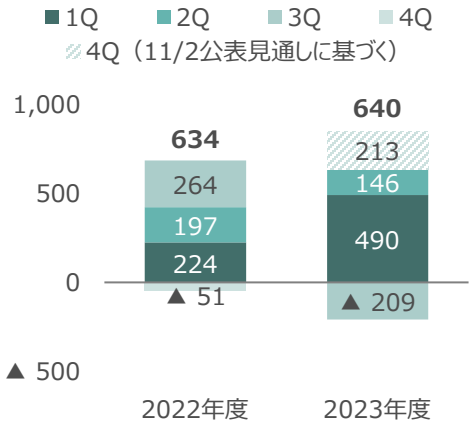
食品産業グループ 損益概要

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	26	▲ 23	▲49	関連会社株式の売却益の一方、海外食品事業における減損損失や鮭鱒養殖事業における持分利益の減少など
一過性除く損益	659	450	▲209	
合計	685	427	▲258	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	427	640	67%	鮭鱒養殖事業における持分利益の減少など

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
子	AGREX DO BRASIL LTDA.（ブラジル）	穀物集荷販売、農業資材販売、穀物生産	100.00	20	34	＋ 14
子	CERMAQ GROUP AS （ノルウェー）	鮭鱒養殖・加工・販売	100.00	284	76	▲ 208
子	INDIANA PACKERS CORPORATION（アメリカ）	豚肉処理・加工・販売業	80.00	25	23	▲ 2
子	MITSUBISHI INTERNATIONAL FOOD INGREDIENTS, INC. （アメリカ）	食品素材の販売、配合調味料の製造・販売	100.00	24	19	▲ 5
持分法（上場）	OLAM GROUP LIMITED （シンガポール）	農産物の生産・集荷・加工・販売	14.64			
持分法（上場）	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社	食肉類、加工食品の製造・販売	40.65	66	60	▲ 6
子	ジャパンファームホールディングス株式会社	畜産業（ブロイラー・肉豚の生産、処理、加工）	92.66	19	23	＋ 4
子	東洋冷蔵株式会社	水産物加工販売	95.08	53	10	▲ 43
子（上場）	日東富士製粉株式会社	製粉業	64.85	20	21	＋ 1
持分法（上場）	日本KFCホールディングス株式会社	飲食店（フライドチキン）	35.21	5	11	＋ 6
子	日本農産工業株式会社	配合飼料製造販売	100.00	3	38	＋ 35
子	フードリンク株式会社	畜産物販売	99.42	10	21	＋ 11
子	三菱商事ライフサイエンス株式会社	食品素材・配合品の製造及び販売	100.00	53	47	▲ 6

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	**369**	**–**	**–**		**369**
関係会社株式売却益	369	–	–		369
一過性損失 計	**–**	**–**	**▲392**		**▲392**
海外食品事業における減損	–	–	▲392		▲392
合計	**369**	**–**	**▲392**		**▲23**
2022年度					
一過性利益 計	**12**	**14**	**–**	**24**	**50**
一過性損失 計	**–**	**–**	**–**	**▲123**	**▲123**
合計	**12**	**14**	**–**	**▲99**	**▲73**

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

コンシューマー産業グループ 損益概要

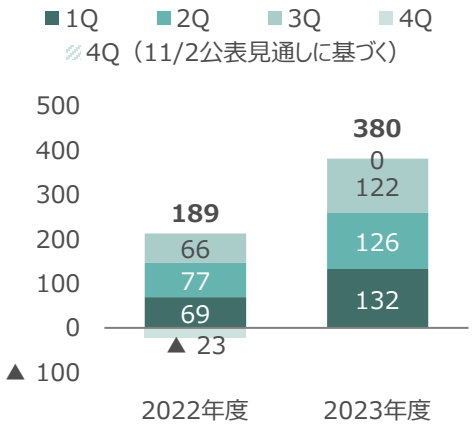
	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	▲ 43	–	+43	CVS事業における持分利益の増加や前年同期に計上した海外事業投資先宛投資の減損の反動など
一過性除く損益	255	380	+125	
合計	212	380	+168	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	380	380	100%	CVS事業における持分利益が第3四半期までに偏重していることなど

（比較年度には4月1日付組織改編に伴う組替を反映。）

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
子	エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社	病院アウトソース事業、医療材料・機器・医薬品等販売	80.00	12	15	+ 3
持分法（上場）	株式会社日本ケアサプライ	福祉用具のレンタル卸および販売	40.26	3	3	0
持分法（上場）	株式会社ライフコーポレーション	食品を中心としたスーパーマーケットチェーン	23.05	23	31	+ 8
子（上場）	株式会社ローソン	コンビニエンスストア「ローソン」のチェーン展開	50.12	91	188	+ 97
子	三菱商事パッケージング株式会社	包装資材、包装関連機械、段ボール原紙・製品、紙・板紙製品の販売	100.00	25	28	+ 3
子	三菱商事ファッション株式会社	繊維製品の企画・製造及び販売	100.00	21	18	▲ 3
子	三菱商事ロジスティクス株式会社	倉庫、総合物流業	100.00	17	22	+ 5
子（上場）	三菱食品株式会社	加工食品、低温食品、酒類、菓子の卸売及び物流事業	50.11	72	90	+ 18

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	–		–
一過性損失 計	–	–	–		–
合計	–	–	–		–
2022年度					
一過性利益 計	–	–	–	–	–
一過性損失 計	▲29	–	▲14	▲14	▲57
合計	▲29	–	▲14	▲14	▲57

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

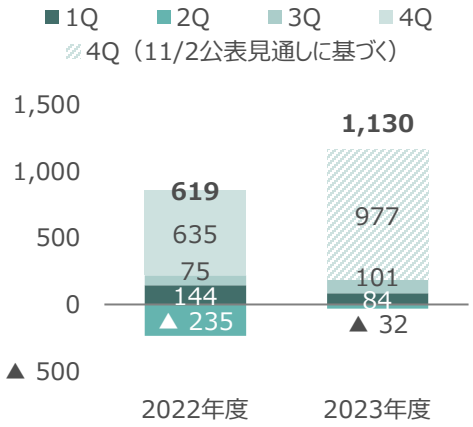
電力ソリューショングループ 損益概要

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	▲ 51	▲ 84	▲33	海外発電事業における資産売却益の減少の一方、前年同期に計上した英国小売事業における電力・ガス調達契約評価損の反動や欧州総合エネルギー事業における持分利益の増加など
一過性除く損益	35	237	+202	
合計	▲ 16	153	+169	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	153	1,130	14%	海外電力事業における資産売却益を第4四半期に見込んでいることなど

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
子	N.V. Eneco（オランダ）※	電力事業	80.00	27	255	+ 228
子	Diamond Generating Asia, Limited（香港）	電力事業	100.00	21	63	+ 42
子	DIAMOND GENERATING CORPORATION （アメリカ）	電力事業	100.00	92	▲ 31	▲ 123
子	DIAMOND TRANSMISSION CORPORATION LIMITED （イギリス）	送電事業	100.00	15	47	+ 32
子	三菱商事エナジーソリューションズ株式会社	電力事業	100.00	▲ 78	▲ 21	+ 57

※ 表中の数値は、Eneco社取得時に公正価値評価された資産の償却等として、連結調整（2022年度：▲39億円、2023年度：▲49億円）を含めている。

一過性損益推移

項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	–		–
一過性損失 計	▲51	▲2	▲31		▲84
アジア発電資産減損	▲29	▲1	–		▲30
海外水事業におけるコスト増加に伴う引当計上及び投資の減損	▲22	▲1	▲31		▲54
合計	▲51	▲2	▲31		▲84
2022年度					
一過性利益 計	–	57	–	253	310
一過性損失 計	▲17	▲91	–	▲203	▲311
合計	▲17	▲34	–	50	▲1

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

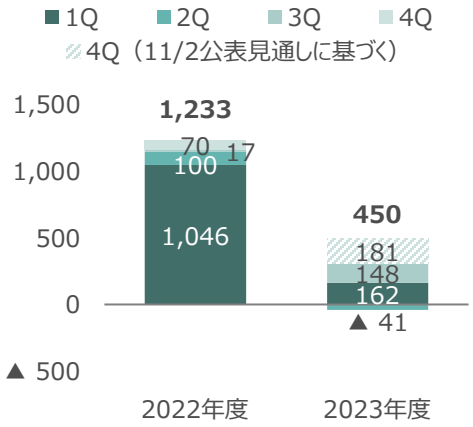
複合都市開発グループ 損益概要

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減	主な増減理由
一過性	812	34	▲778	前年同期に計上した不動産運用会社の売却益の反動や北米不動産事業における持分利益の減少など
一過性除く損益	351	235	▲116	
合計	1,163	269	▲894	

	2023年度 第3四半期実績	2023年度 11/2公表見通し	進捗率	進捗状況
見通し進捗率	269	450	60%	国内不動産事業等における資産売却益を第4四半期に見込んでいることなど

（単位：億円）

四半期損益推移



主要な関係会社等の損益

連結区分	会社名・項目名（国名）	主な事業内容	持分比率（%）	第3四半期累計損益 22年度	23年度	増減
子	DIAMOND REALTY INVESTMENTS, INC. （アメリカ）	不動産投資会社	100.00	136	▲ 15	▲ 151
子	ダイヤモンド・リアルティ・マネジメント株式会社	不動産投資顧問業	100.00	16	27	+ 11
持分法（上場）	三菱HCキャピタル株式会社	各種物件のリース・割賦販売、その他ファイナンス業務	18.00	160	140	▲ 20
持分法	三菱オートリース株式会社	各種自動車リース・割賦、その他金融業務	50.00	24	24	0
子	三菱商事都市開発株式会社	商業施設等賃貸不動産の開発・運営	100.00	52	88	+ 36
–	アセアン都市開発関連事業会社	–	–	46	4	▲ 42
–	ファンド関連事業会社	–	–	2	▲ 29	▲ 31

一過性損益推移

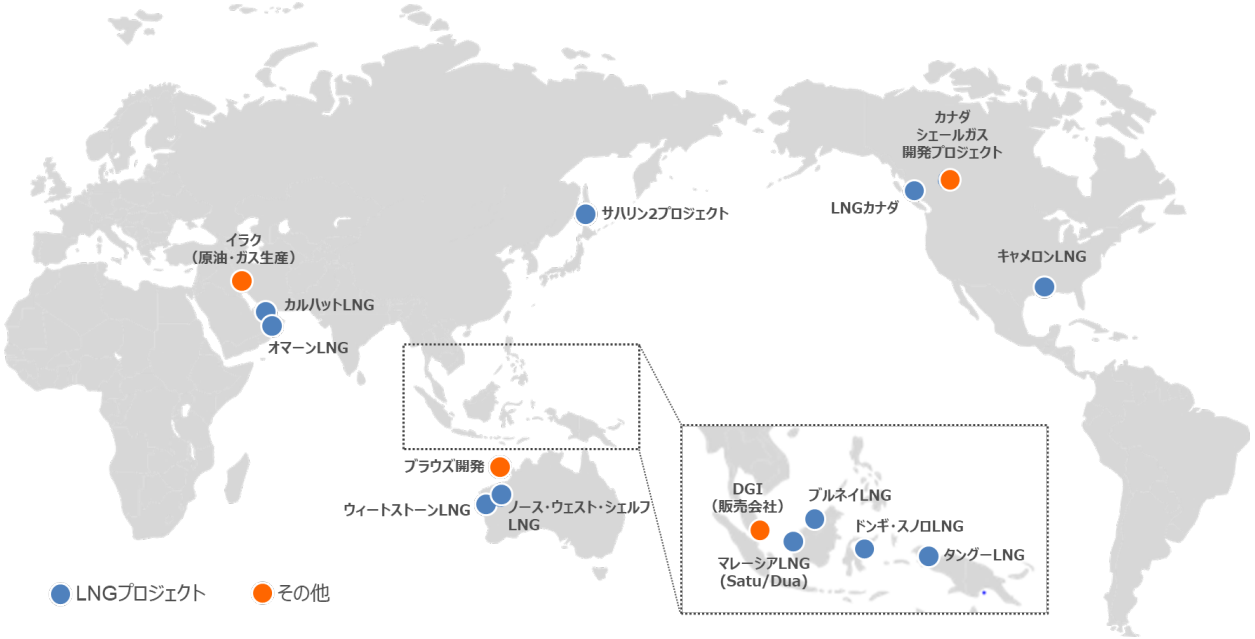
項目名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度					
一過性利益 計	–	–	34		34
関係会社株式売却益	–	–	34		34
一過性損失 計	–	–	–		–
合計	–	–	34		34
2022年度					
一過性利益 計	841	–	–	–	841
一過性損失 計	–	–	▲29	▲37	▲66
合計	841	–	▲29	▲37	775

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

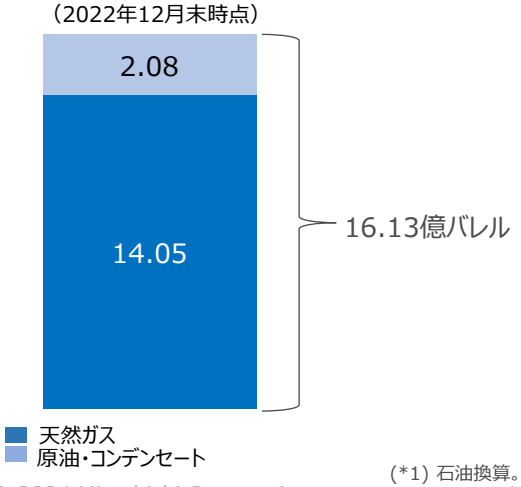
4 セグメント別の補足情報（事業データ）

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

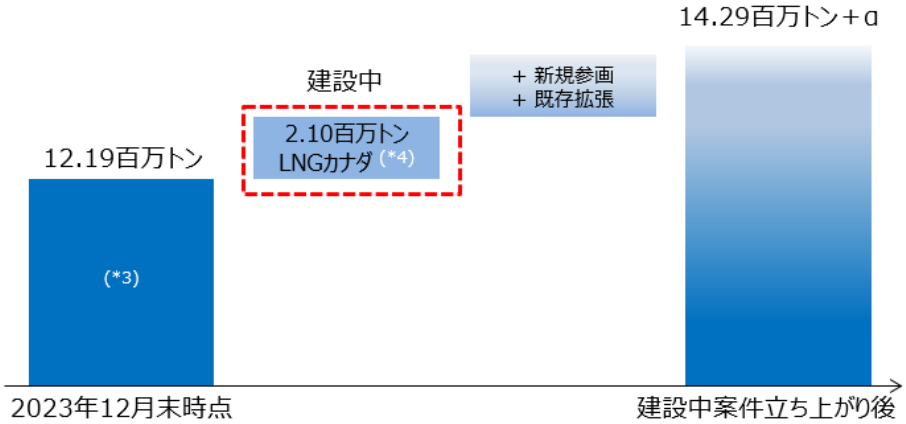
エネルギー資源開発事業の世界展開　天然ガスグループ



石油・ガス上流資産の当社保有埋蔵量(*1)



LNG持分生産能力の成長見通し(*2)



(*1) 石油換算。会計上の非連結先も含む。一部当社独自の基準による。 (*2) 各プロジェクトの持分生産能力を基に作成。
(*3) キャメロン事業は当社がキャメロンLNG社に液化加工委託する数量を採用。(*4) LNGカナダ事業は当社がLNGを引き取る数量を採用。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

ＬＮＧプロジェクト一覧　天然ガスグループ

＜既存プロジェクト（生産中）＞

(*1) 事業内容 A: 探鉱・開発（上流）へ投資、B：液化基地へ投資、C：マーケティング或いは輸入代行業務、D：海上輸送

プロジェクト名	生産開始年	年間生産能力（百万トン） 総量	三菱商事シェア		買　主	売　主	株主構成	三菱商事の参画年	事業内容 (*1)
ブルネイ	1972	7.2	1.8	25%	主に極東を中心としたアジア域内へ販売	Brunei LNG	ブルネイ政府(50%)、Shell(25%)、三菱商事(25%)	1969	A B C D
マレーシア Ｉ（サトゥー）	1983	8.4	0.42	5%	東京ガス、西部ガス、他	Malaysia LNG	PETRONAS(90%)、サラワク州政府(5%)、三菱商事(5%)	1978	A B C D
マレーシア II（ドゥア）	1995	9.6	0.96	10%	東北電力、東京ガス、静岡ガス、仙台市ガス局、ENEOS、他		PETRONAS(80%)、サラワク州政府(10%)、三菱商事(10%)	1992	A B C D
ノース・ウェスト・シェルフ（NWS）	1989	16.9	1.41	8.33%	JERA、東京ガス、静岡ガス、東邦ガス、関西電力、大阪ガス、広東大鵬LNG、他	NWS	Woodside(33.3%) Shell、bp、Chevron、MIMI[三菱商事/三井物産=50:50](各16.7%)	1985	A B C D
オマーン	2000	7.1	0.20	2.77%	大阪ガス、韓国ガス公社、伊藤忠商事、bp、他	Oman LNG	オマーン政府(51%)、Shell(30%)、TotalEnergies(5.54%)、三菱商事(2.77%)、他	1993	A B C D
カルハット	2005	3.3	0.13	4%	大阪ガス、三井物産、他	Qalhat LNG	オマーン政府(46.8%)、Oman LNG(36.8%)、Naturgy(7.4%)、大阪ガス(3%)、三菱商事(3%)、他	2006	A B C D
ロシア サハリン2	原油: 2008 (通年生産) LNG: 2009	9.6	0.96	10%	JERA、東京ガス、九州電力、東邦ガス、広島ガス、東北電力、西部ガス、大阪ガス、韓国ガス公社、他	Sakhalin Energy LLC	Gazprom(50%)、Sakhalin Energy LLC (27.5%)、三井物産(12.5%)、三菱商事(10%)	1994* *PSA締結	A B C D
インドネシア タングー	2009	11.4	1.13	9.92%	東北電力、関西電力、SK E&S、POSCO、福建LNG、Sempra、PLN、他	Tangguh	bp(40.2%)、MI Berau[三菱商事/INPEX=56:44](16.3%)、ケージーベラウ[MIBJ(三菱商事/INPEX=56:44)16.5%、三井物産20.1%、JX石油開発14.2%、JOGMEC49.2%](8.6%)、他	2001	A B C D
インドネシア ドンギ・スノロ	2015	2.0	0.9	44.9%	JERA、韓国ガス公社、九州電力、他	PT. Donggi-Senoro LNG	Sulawesi LNG Development (59.9%) [三菱商事/韓国ガス公社=75:25]、PT Pertamina Hulu Energi(29%)、PT Medco LNG Indonesia(11.1%)	2007	A B C D
ウィートストーン	2017	8.9	0.28	3.17%	Chevron、KUFPEC、Woodside、九州電力、PEW、他	Equity Lifting 形式 (*2)	Chevron(64.136%)、KUFPEC(13.4%)、Woodside(13%)、九州電力(1.464%)、PEW (8%; 内 三菱商事39.7%)	2012	A B C D
キャメロン	2019	12.0	4.0 (*3)	33.3% (*3)	三菱商事、三井物産、TotalEnergies (天然ガス液化委託者)	Tolling形式 (*2)	Sempra(50.2%)、Japan LNG Investment[三菱商事/NYK=70:30](16.6%)、三井物産(16.6%)、TotalEnergies(16.6%)	2012	A B C D
	合計	**96.4**	**12.19**						

(*2) 権益比率（Equity Lifting 形式）や液化委託持分比率（Tolling 形式）等に応じてLNGを引き取り各社で販売
(*3) 当社がキャメロンLNG社との液化加工委託に基づき取り扱う数量及び比率（3系列合計）

＜新規プロジェクト（建設中）＞

LNGカナダ	2020年代中頃	14.0	2.10 (*4)	15% (*4)	Shell、PETRONAS、PetroChina、三菱商事、韓国ガス公社	Equity Lifting形式 (*2)	Shell(40%)、PETRONAS(25%)、PetroChina(15%) Diamond LNG Canada Partnership(三菱商事15%) 韓国ガス公社(5%)	2010	A B C D
	合計	**14.0**	**2.10**						

(*4) 当社がLNGを引き取る数量及び比率（2系列合計）

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

金属資源関連事業の世界展開　金属資源グループ

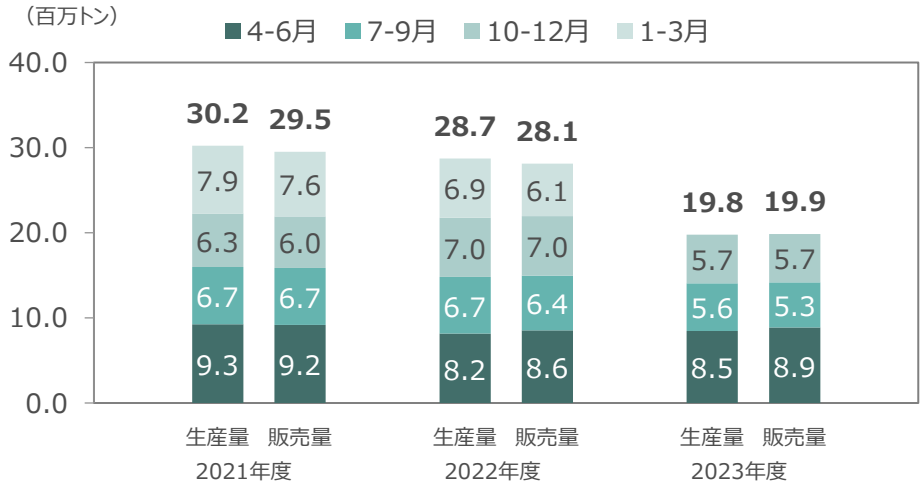
商品	プロジェクト	所在国	年間生産能力(*1)	主なパートナー	当社出資比率
原料炭	BMA	豪州	原料炭他 57百万トン(*2)	BHP	50.00%
銅	Escondida	チリ	銅 1,200千トン	BHP、Rio Tinto	8.25%
	Los Pelambres	チリ	銅 410千トン	Luksic Group(AMSA)	5.00%
	Anglo American Sur	チリ	銅 311千トン(*3)	Anglo American、Codelco	20.4%
	Antamina	ペルー	銅 418千トン、亜鉛 337千トン(*2)	BHP、Glencore、Teck	10.00%
	Quellaveco	ペルー	2022年に生産開始。 (年間生産量: 銅 300千トン(生産開始後10年間平均))	Anglo American	40.00%

(*1)生産能力はプロジェクト100%。
(*2)年間生産能力については非公表である為、2022年度の生産量を記載。
(*3)年間生産能力については非公表である為、2022年の生産量を記載。

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

原料炭事業 金属資源グループ

BMA 年間生産量・販売量（50%ベース）推移



（四半期毎の加算と合計値は四捨五入の関係で一致しないことがある。）

BMAの2023年10-12月期生産量は前年同期比18%減の5.7百万トン。

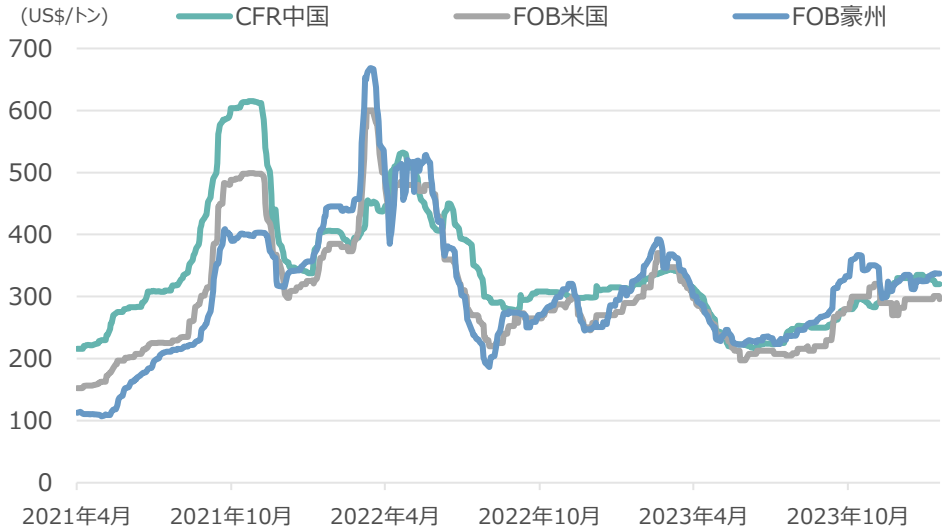
一部炭鉱におけるメンテナンスの影響に加え、Broadmeadow炭鉱における採掘機材移動遅延・地質状況が起因する生産性低下、及び、剥土量増の影響が響き、前年同期比減となったもの。

米ドル／豪ドル 期中平均レート推移 (*)

US$/A$	2021年度	2022年度	2023年度		
平均期間	1-4Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q
期中平均レート	0.7392	0.6849	0.6681	0.6614	0.6580

出典：Mitsubishi UFJ リサーチ&コンサルティング (*)上記為替レートはMDPの実効レートとは異なる

海上貿易 強粘炭主要インデックス推移



- 原料炭インデックス価格は23年5月末のUS$220/トン台を底に上昇を継続し、同10月前半にはUS$360/トンを超えた。その後下落し、24年1月現在はUS$330/トン台で推移している。
- 鉄鋼需要が堅調なインドや新規高炉・コークス炉の立上げを背景に東南アジアでの原料炭需要は根強く、更に、足元では主に豪州サプライヤーの生産障害・供給制約に起因し、価格が高止まりしている。

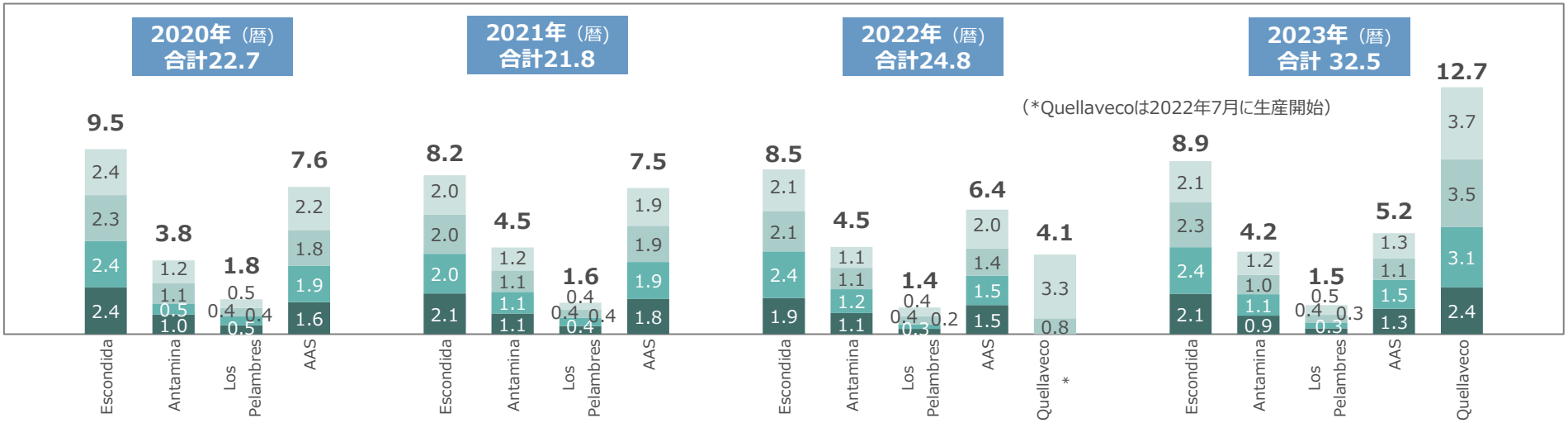
Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

銅 事 業　金属資源グループ

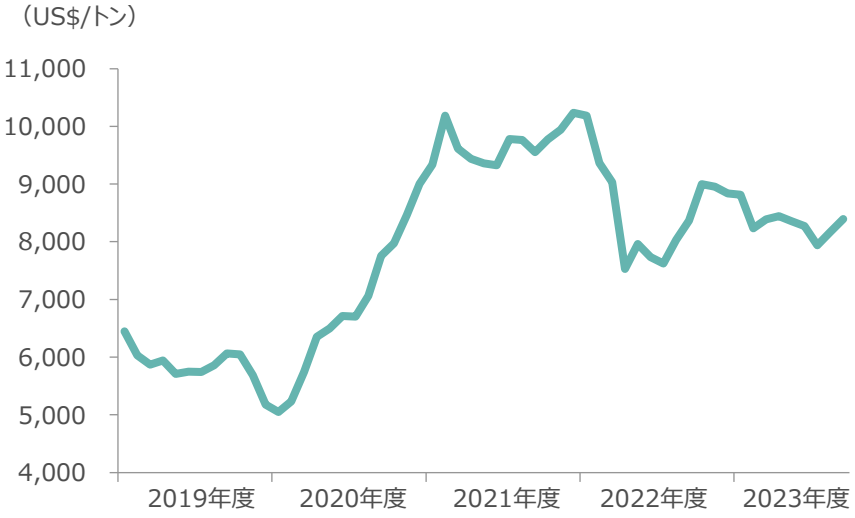
当社持分生産量の推移

（万トン）■1-3月 ■4-6月 ■7-9月 ■10-12月

（四半期毎の加算と合計値は四捨五入の関係で一致しないことがある。）



LME銅地金価格推移（月次平均）



特記事項

① Anglo American Sur（AAS）

- Los Bronces銅鉱山の2023年10-12月期生産量は、主に給鉱品位の低下、及び鉱石硬度上昇による処理量減の影響により前年同期比32%減少。
- El Soldado銅鉱山の2023年10-12月期生産量は、給鉱品位の低下、及び処理量減の影響により前年同期比52%減少。

② Quellaveco銅鉱山

2023年10-12月期生産量は、2023年6月にデザインキャパシティで定める鉱石処理量を安定的に達成可能となったことに伴い処理量が上昇し、前年同期比14%増の9.4万ﾄﾝ。

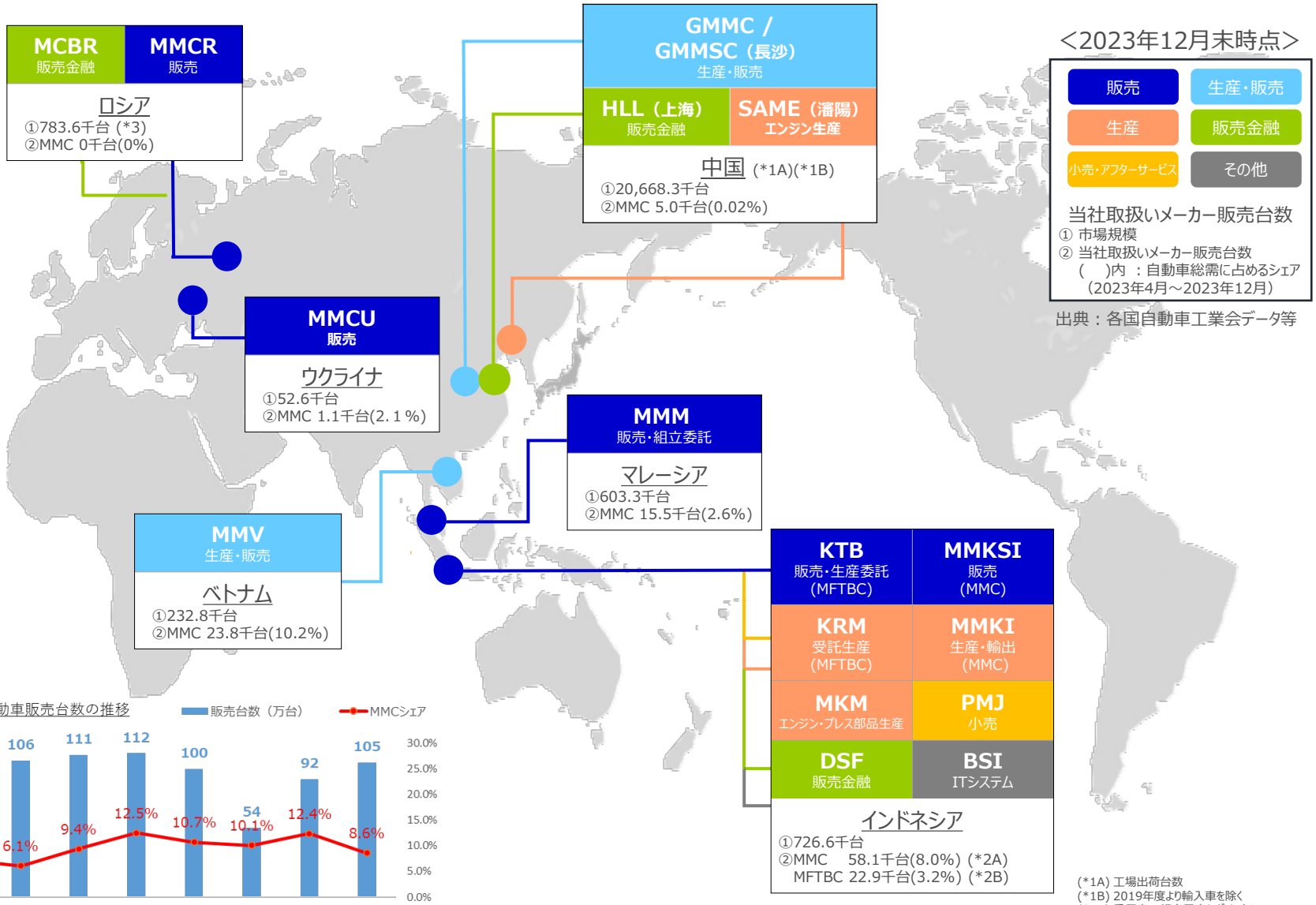
③ Escondida銅鉱山

主に硫化鉱リーチング生産の減少により、2023年10-12月期生産量は前年同期比1.3%減の25.5万トン。

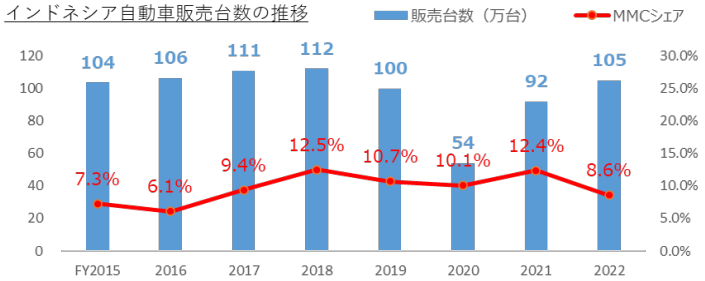
（生産数量は各案件100%ベースで記載）

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

自動車関連事業の世界展開（三菱自動車・三菱ふそうトラック・バス 関連）



インドネシア自動車販売台数の推移



(*1A) 工場出荷台数
(*1B) 2019年度より輸入車を除く
(*2A) 乗用車＋軽商用車セグメントシェア8.7%
(*2B) 商用車セグメントシェア38.2%
(*3) 2023年4月-12月分はドイツブランド除く
(シェアも同全需を使用し計算)

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

自動車関連事業の世界展開（いすゞ関連） 自動車・モビリティグループ

LCV: Light Commercial Vehicle(小型商用車)

CV: Commercial Vehicle(商用車)

<2023年12月末時点>

販売 / 輸出 / 生産・販売 / 生産 / 販売金融 / 小売・アフターサービス / その他

いすゞ車販売台数
① 市場規模
② 当社取扱いメーカー販売台数
( )内 ：CV、LCV全需に占めるシェア
(2023年4月～2023年12月)

出典：各国自動車工業会データ等

IBX
ドイツ・オーストリア・ポーランド・チェコ・スロバキア・ベネルクス向販売

ベルギー
LCV
①(*2)
②2.0千台

IMI
生産・販売・輸出

インド
LCV
①(*2)
②16.3千台
(内、インド国内1.7千台)

IPC
生産・販売

フィリピン
LCV
①151.4千台
②4.9千台(3%)
CV
①31.9千台
②8.7千台(27%)

IMEX
生産・販売

メキシコ
CV
①6.7千台(*1)
②3.8千台
(2.2千台(*1)、33%)

IMIT
輸出

タイ（輸出）
①(*2)
②LCV 輸出台数
CBU 113.0千台
KD 40.1千台

CBU: 完成車
KD: 組立用部品

IMSB
販売

マレーシア
LCV
①203.3千台
②7.6千台(4%)
CV
①12.7千台
②5.3千台(42%)

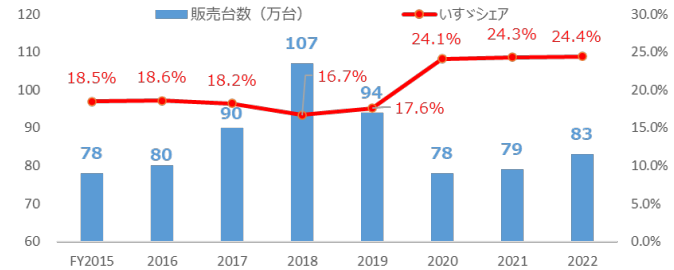
IUA
販売

オーストラリア
LCV
①275.2千台
②35.0千台(13%)

TIS 販売	**TIL** 販売金融	**IMCT** 生産
IAS 小売	**AUTEC** アフターサービス バスメンテナンス、シボレディーラー	**TISCO** アフターサービス
TPIS 自動車保険販売	**TPIT** ソフトウェア開発・維持管理	**PTB** 車両ドライバー派遣

タイ（国内）
LCV ①224千台 ②93千台(42%)
CV ①23千台 ②12千台(52%)

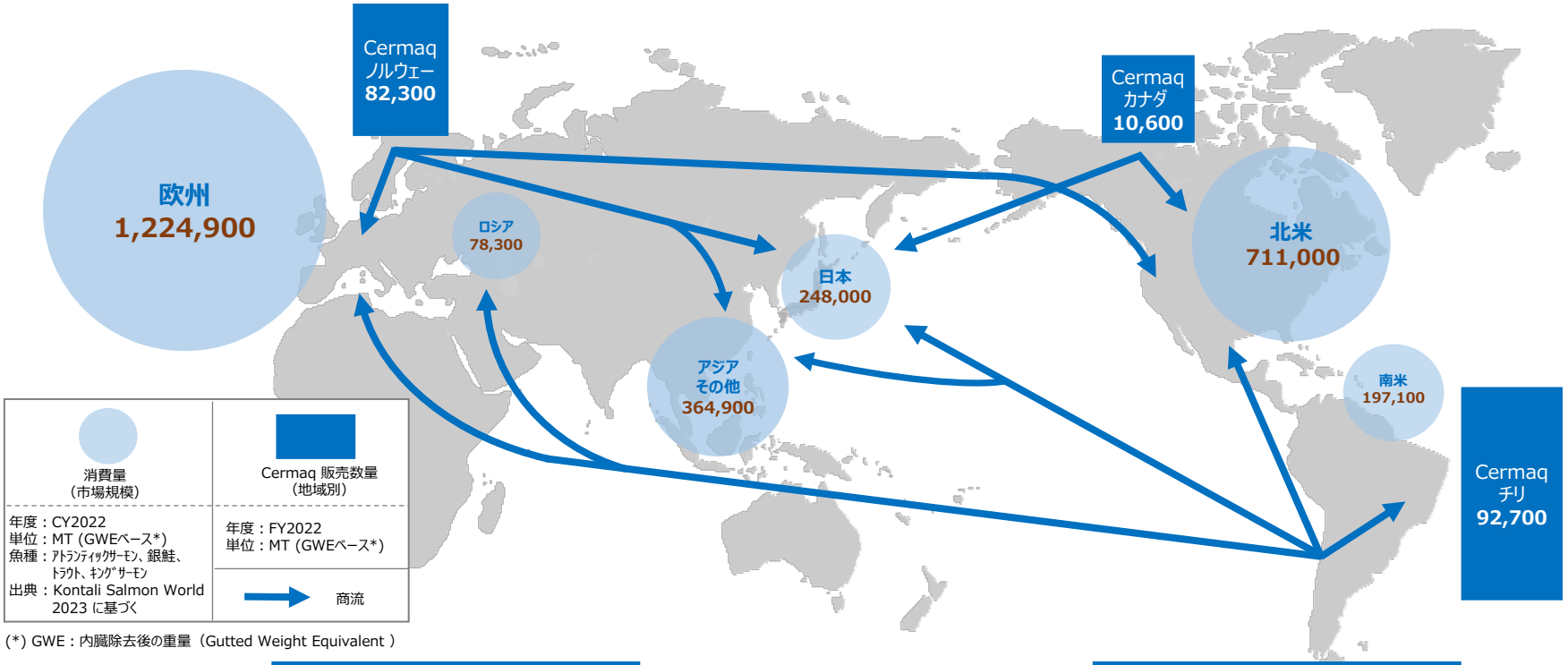
タイ自動車販売台数の推移



(*1) Class 4-7(GVW6.4t～15t)
(*2) 複数国へ販売しているため全需情報は割愛

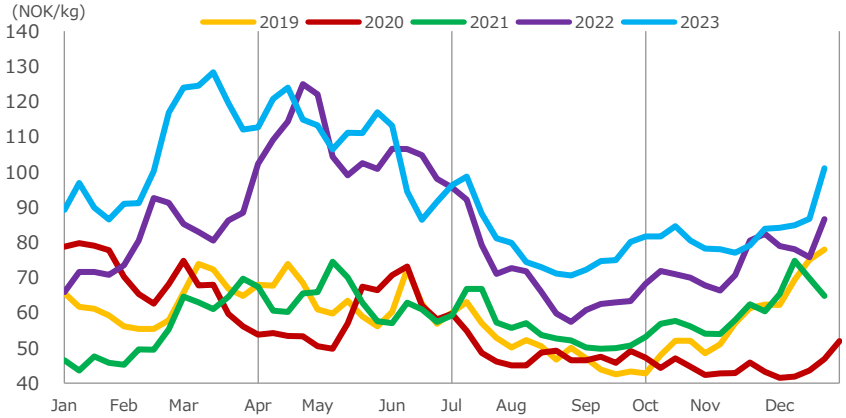
Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

鮭鱒養殖事業 食品産業グループ

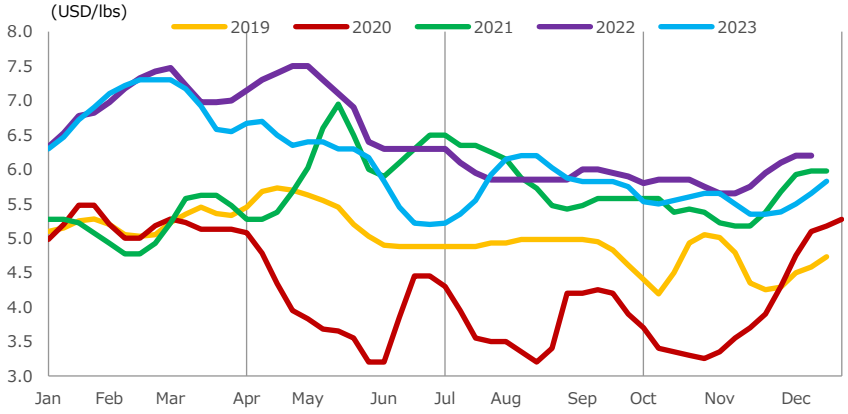


(*) GWE：内臓除去後の重量（Gutted Weight Equivalent ）

欧州市場 Fish Pool Index



米国市場 Urner Barry Index



Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

電力事業 電力ソリューショングループ

Diamond Transmission Corporation (DTC 英国)
欧州における送電事業の開発・運営

Eneco(オランダ)
オランダ、ベルギー、ドイツを中心に事業展開する総合エネルギー事業会社

欧州地域
245 万kW
内、169 万kW
784 km

三菱商事エナジーソリューションズ (MCES 日本)
日本における発電事業の開発・運営

日本国内
101 万kW
内、37万kW

アジア・大洋州・中東地域
148 万kW
内、17 万kW

Diamond Generating Asia (DGA 香港)
アジア・大洋州・中東地域における発電事業の開発・運営

Diamond Generating Corporation (DGC 米国)
米州地域における電力事業の開発・運営

米州地域
312 万kW
内、82 万kW

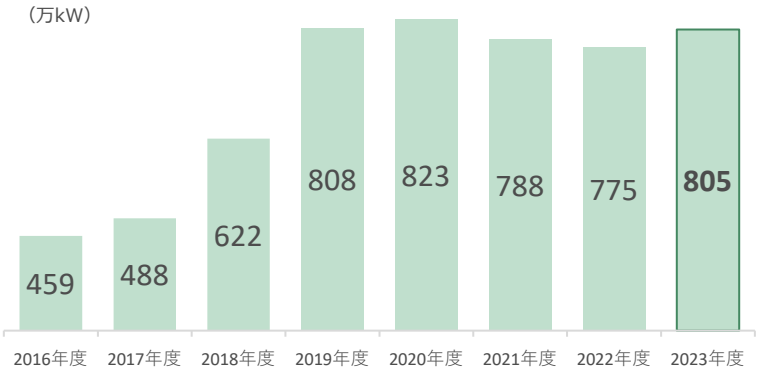
Diamond Generating Corporation Mexico (メキシコ)
メキシコにおける発電事業の開発・運営

Nexamp (米国)
米州地域における分散電源事業

持分容量（万kW）
再エネ持分容量（**内数**）（万kW）
送電距離（km）

持分容量の推移

（2023年12月末時点）



持分容量

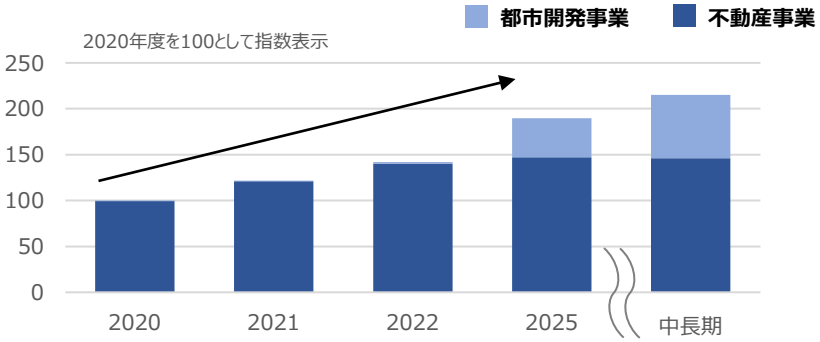
（2023年12月末時点）

Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation

都市開発・都市インフラ事業　複合都市開発グループ

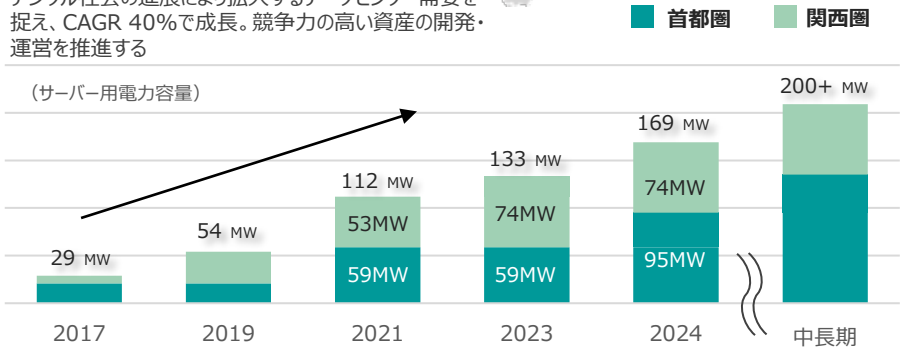
都市開発・不動産事業 事業規模のイメージ

従来型の不動産事業の着実な成長に加えて、大規模・複合用途の都市開発（面開発）へ注力



国内データセンター事業 事業規模

デジタル社会の進展により拡大するデータセンター需要を捉え、CAGR 40%で成長。競争力の高い資産の開発・運営を推進する



Copyright © 2024 Mitsubishi Corporation